

# 牛蹄衛生調査普及推進事業「新規牛蹄師養成講習会」開催要領

(平成27年度 長崎県2級認定牛蹄師認定講習・認定試験実施要領)

平成 27年 5月 28日

(公益) 日本装蹄協会

## 1. 講習会の目的：

酪農及び肉用牛経営における生産性向上を図るため、基礎的な蹄技術を有する牛蹄師を養成・確保するための実習主体の講習会を開催するものとする。

## 2. 主催者等：

①主催者～公益社団法人 日本装蹄協会（東京都台東区蔵前4-5-90Tビル4F、TEL：03-5833-1751、090-7807-7228）

②協力団体～長崎県牛蹄師会（大村市池田新町836-4、TEL0957-53-4710）

## 3. 開催期日：

平成27年7月29日(水)および7月30日(木)の2日間

## 4. 開催場所：

全農長崎県南家畜市場（長崎県雲仙市吾妻町永中名、TEL0957-38-6900）

## 5. 受講資格：18歳以上の者

## 6. 受験料等：受講料等は次のとおりです。（消費税含む）

①受講料；19,440円

②受験料；28,080円

③テキスト代；6,000円（希望者）

④テキスト送料；1冊の場合は360円、6冊以上の場合は本会にご連絡ください

（注1）牛蹄入門のテキストには練習問題が付録しておりますので事前に予習をしていただくことをお勧めします。

（注2）受講前にテキストを購入する場合は、テキスト代と送料を含めた合計金額を本会指定口座に振り込んで下さい。

## 7. 受講・受験手続：

(1)九州・沖縄地区在住の受講希望者は、6月29日(月)までに地元の県装蹄師会（別紙正会員一覧参照）に提出して下さい。

また、その他の地区の受講希望者は、7月3日(金)までに本会に提出して下さい。

①2級認定牛蹄師認定講習会受講申込書

②2級認定牛蹄師認定試験受験願書

(2)獣医師が受講・受験する場合は、上記(1)の書類のほか、獣医師免許証の写しを提出して下さい。

(3)受講料等は、別紙「払込取扱票」を参照の上、郵便局の払込取扱票を使用して7月3日(金)までに振込んで下さい（振込手数料は受講者負担）。

（注1）獣医師については、学科講習および学科試験を免除しますが、所定の受講・受験料を申し受けます。

（注2）受講・受験料の納入後に受講出来なくなった場合、受講・受験料は、原則として、返金しません。

## 8. 受講者数及び受講者の決定等：

(1)受講者数は、40名以内とする。

なお、40名を超えた場合は、申込み締め切り日前であっても受付を締め切ることがあります。

(2)郵便局の「振替払込請求書兼受領書」は、本会の領収書に代えるものとし、また、講習会の「受講票」となりますので、必ず講習会当日に持参して下さい。

9. 合格証等の交付：

認定講習会において教科課程を修了した者には修了証を、認定試験（学科及び実技）に合格した者には合格証をそれぞれ交付します。なお、認定試験に合格した者については、修了証を合格証に代えます。

10. 受講者必携品：次の物を必ず持参して下さい。試験当日、これらを忘れても本会からは貸与しません。また器具や服装等の不備によっては、受験を認めないことがあるので、注意して下さい。

- ・筆記用具と画板（B4版大）、削蹄器具（鎌型蹄刀、削蹄鉋、削蹄槌、削蹄板、蹄鉋、頭部保定用ロープ）、作業用衣服、前垂れ、ゴム長靴等（消毒可能な履物）、砥石（荒砥、中砥、仕上げ砥）、砥石台、タオル。
- ※ 作業用衣服、削蹄器具等は、必ず洗濯済み、消毒済みの防疫上清潔なものを持参して下さい。
- なお、保定用ロープは、必ず新品を持参して下さい。（新品でないもの持込みは認めません）

11. 認定試験：認定試験は、次の課目について、下表の日程に従って実施します。

- ①学科試験～A分野「牛に関する基礎的なこと・肢蹄の解剖・疾病に関すること」、B分野「削蹄判断に関すること」、C分野「基本削蹄法に関すること」（筆記試験）
- ②実技試験～「実牛を使った削蹄」（受験者2人で1頭を削蹄～受験者1人につき前後肢各1肢を削蹄）

12. 講習日程等：

- (1) 受付は、7月29日（水）、午前8時20分から開始します。この時間までに学科講習の会場である全農長崎県南家畜市場の研修室に集合して下さい。（時間厳守）
- (2) 講習日程は、次のとおりです。（都合により多少変更する場合があります。）

期 日	時 間	講 習 及 び 試 験 の 内 容	担 当 講 師
第 一 日	7月29日（水） 研修室	08:30～11:30	削蹄基礎知識 日本装削蹄協会 認定研修部 大沼純一
		11:30～12:00	学科試験（B分野） 試験委員
	12:30～13:30	学科試験（A分野・C分野） 試験委員	
	繋留所	13:30～17:00	基本削蹄（実牛を使わない講習） 指導級認定牛削蹄師 西村 直（熊本県）
第 二 日	7月30日（木） 繋留所	08:30～12:30	基本削蹄（実牛を使った講習） 指導級認定牛削蹄師 西村 直（熊本県） 2級認定牛削蹄師 龍田太朗（長崎県）
		13:30～15:00	
			15:00～17:00

13. 個人情報：受講者の個人情報については、次のとおり取り扱います。

- (1) 受講申込書等に記載された内容は、研修・試験事務等に利用します。
- (2) 合格者については、認定申請の案内に利用するため、受験者の地元の装削蹄師会に提供します。
- (3) 2級認定牛削蹄師の認定を受けた者の個人情報についても認定更新、昇級研修、関係装削蹄師会の案内事務等に利用するとともに、当該事務を円滑に行うために必要な個人情報を関係装削蹄師会に提供します。

14. その他留意事項：

- (1) 実技講習における防疫対策については、別添「牛削蹄関係講習会等における防疫対策要領」に基づき実施いたします。
- (2) 日本装削蹄協会は、講習・受験中の受講者の事故について責任を負いません。
- (3) 日本装削蹄協会は、受講申込書の取り扱いについて個人情報保護法に抵触しないよう十分に配慮します。
- (4) 宿泊及び昼食については、各自、ご手配ください。
- (5) 所定の申込み関係書類を本会に提出し、受講料等を振り込まれた方は、特に問題がない限り本会より連絡はいたしません。講習会当日、時間に遅れないようお集まりください。
- (6) 第一日目の基本削蹄（実牛を使わない講習）では、刃物を研ぐ講習を行いますので、刃物及び砥石をご持参ください。

# 牛削蹄関係講習会等における防疫対策要領

平成 27 年 4 月 1 日  
(公社) 日本装削蹄協会

日本装削蹄協会（以下「本協会」という。）が主催する牛削蹄関係講習会・研修会における防疫対策については、「口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針」（平成 23 年 10 月 1 日農林水産大臣公表）を踏まえ、本要領に定めるところによる。

## 1. 目的

本要領は、家畜伝染病の発生予防の観点から、本協会が主催する講習会・研修会において、牛を使用して実技講習・研修、実技試験（以下「実技講習等」という。）を実施する場合の防疫対策を定めるものである。

## 2. 防疫対策の基本

実技講習等における防疫対策は、消毒の徹底を基本とする。

## 3. 講習会等における防疫対策

### (1) 実技講習等に参加するに当たっての防疫上の心得

- ア. 実技講習等の受講・受験者並びに講師及び補助者（以下「受講者等」という。）は、洗濯した清潔な衣服を着用して実技講習等の会場（以下「実技講習会場」という。）に  
来場すること
- イ. 受講者等で実技講習等の前に偶蹄類の動物に接触した者は、事前に入浴及び洗髪してから実技講習会場に来場すること
- ウ. 受講者等は、事前に十分洗浄・消毒した削蹄用具（作業着、作業靴、作業手袋、前垂れ、各種削蹄器具、削蹄器具の収納箱等をいう。以下同じ。）を持参すること。  
ただし、前垂れについては、洗浄しても汚物が除去できない場合は、新品を持参すること
- エ. 実技講習等で使用する牛の保定用ロープは、消毒済みのもの又は新品を持参すること
- オ. 受講者等及び本協会の実技講習等担当者（以下「日装担当者」という。）は、実技講習等終了後（帰宅後等）において、着衣の洗濯、入浴、洗髪を行うこと

## (2) 実技講習会場入場時における防疫対策

- ア. 実技講習会場に入場する車両は、その入場時、所定の場所において日装担当者（日装担当者が指定する補助者等を含む。以下同じ。）による噴霧消毒を受けること
- イ. 実技講習会場に入場する受講者等及び日装担当者は、その入場時、所定の場所において日装担当者による作業衣の噴霧消毒を受けるとともに、履物を踏込消毒槽で消毒すること
- ウ. 日装担当者及び一般観覧者で作業着を着用しない者は、実技講習会場への入場時、本協会が用意する防疫服を着用するとともに、履物を踏込消毒槽で消毒のうえ、防疫シューズカバーを着用すること
- エ. 受講者等は、実技講習会場への入場時、所定の場所において、日装担当者による削蹄用具の点検・消毒を受けること
- オ. 上記エの削蹄用具の点検において、糞便等の汚物が付着した物は、実技講習会場内への持込みを認めない。

## (3) 実技講習会場退場時における防疫対策

- ア. 受講者等は、実技講習等終了後、実技講習会場から退出するときは、所定の場所で削蹄用具の消毒及び作業衣の噴霧消毒を受けた後、履物を踏込消毒槽で消毒してから退出すること
- イ. 防疫服及び防疫シューズカバーを着用した者が実技講習会場から退出するときは、所定の場所で日装担当者による防疫服の噴霧消毒を受けるとともに、防疫シューズカバーを踏込消毒槽で消毒のうえ、消毒済みの防疫服及び防疫シューズカバーを所定の場所に返却した後、履物を踏込消毒槽で消毒してから退出すること
- ウ. 実技講習会場に入場した車両は、その退出時、所定の場所において日装担当者による噴霧消毒を受けてから退出すること

## 4. 防疫対策の遵守

防疫対策について、遵守しない者は、実技講習会場への入場を認めない。

## 5. 関係団体の協力

本協会は、実技講習会場における防疫対策に必要な動力噴霧器等の供用について、可能な範囲で牛削蹄関係正会員、農業共済団体の協力を得るものとする。

以上



2級認定牛削蹄師認定講習会受講申込書

公益社団法人日本装削蹄協会会長 殿

フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日
郵便番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
住所	
電話	( )
最終卒業 (修了)学校	学校名 卒業(修了) 年 月 日

2級認定牛削蹄師認定講習会を受講したいので  
申し込みます。

年 月 日

氏名



注意 年月日は年号で記入すること。

## 2 級認定牛削蹄師認定試験受験願書

公益社団法人日本装削蹄協会会長 殿

公益社団法人日本装削蹄協会認定規程による 2 級

認定牛削蹄師認定試験の受験を願います。

平成 年 月 日

郵便番号

			-				
--	--	--	---	--	--	--	--

フリガナ

住 所

電 話

( )

性 別

男 ・ 女 (該当する方に○を記入してください)

フリガナ

氏 名

印

年 月 日 生

# 払 込 取 扱 票

振替払込請求書兼受領証

00	口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。																					
口座記号					口座番号 (右詰めで記入)					金額												
*	0	0	1	9	0	*	6	*	7	6	3	5	6	2	千	百	十	万	千	百	十	円
加入者名	公益社団法人 日本装削蹄協会										料金	備考										
通信欄	<p style="font-size: small;">注：受講地を記入し、テキストを購入する場合は、該当項目に☑を入れて上の金額欄に払込金額を記入して下さい。また、テキストを購入する場合は、別途送料がかかりますので、詳細については開催要領をご参照下さい。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">受講地</td> <td style="width: 40%;"> <input type="checkbox"/> 新規牛削蹄師養成講習会 (2級認定牛削蹄師認定講習会) 受講料・受験料 (47,520 円)                 </td> <td style="width: 40%;"> <input type="checkbox"/> テキスト代(6,000 円) 送料 (1冊 360 円)                 </td> </tr> </table>										受講地	<input type="checkbox"/> 新規牛削蹄師養成講習会 (2級認定牛削蹄師認定講習会) 受講料・受験料 (47,520 円)	<input type="checkbox"/> テキスト代(6,000 円) 送料 (1冊 360 円)									
受講地	<input type="checkbox"/> 新規牛削蹄師養成講習会 (2級認定牛削蹄師認定講習会) 受講料・受験料 (47,520 円)	<input type="checkbox"/> テキスト代(6,000 円) 送料 (1冊 360 円)																				
ご依頼人	お名前										日 附 印											
(ご連絡先電話番号)																						

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)  
 これより下部には何も記入しなさいでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。  
 切り取らないでお出しください。

口座記号番号	*	0	0	1	9	0	*	6
加入者名	(公社) 日本装削蹄協会							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おなまえ							
料金	(消費税込み) 日 附 印							
備考	円							

この受領証は、大切に保管してください。

公益社団法人日本装蹄協会 正会員一覧

平成27年5月12日現在

団体名	会長・支部長	担当者	住 所	FAX ※は電話兼用
● 北海道地方競馬装蹄師会	中川 智義	甲斐	055-0008;北海道沙流郡日高町富川駒丘76-1 A棟101	01456-2-0907 090-9437-4081(甲斐)
● 北海道日高装蹄師会	武田 英二	松田	056-0002;北海道日高郡新ひだか町静内神森175-2 日高軽種馬農業協同組合内	0146-42-1200
★ 北海道牛削蹄師会	阿部 優	江口	063-0804;札幌市西区二十四軒4条5-9-3 公益社団法人北海道家畜産物衛生指導協会内	011-642-4990
● ★ 青森県装蹄師会	高橋 鉄造	藤 森	039-2567;上北郡七戸町宇鶴児平72-1 青森県畜産農業協同組合連合会内	017-660-1070
● 岩手競馬装蹄師会	桜田 省吾	同左	020-0801;盛岡市浅岸2丁目16-26 桜田省吾様方	019-623-4408
● ★ 岩手県装蹄師会	嵯峨 美紀	下山・安田	020-0857;盛岡市北飯岡1丁目10-50 岩手県農業共済組合連合会 家畜課内	019-601-7496
● ★ 宮城県装蹄師会	高橋 家壽夫	一 様	980-0011;仙台市青葉区上杉1-8-10 宮城県農業共済組合連合会 家畜部家畜課内	022-225-6781
● ★ 秋田県装蹄師会	板垣 幸三	嵐 山	010-0001;秋田市中通3-4-50 秋田県農業共済組合連合会 家畜建物部 家畜課内	018-884-5232
● 山形県装蹄師会	日野 勝治	同左	994-0011;天童市北久野本2-1-33 日野勝治様方	0236-53-8123
★ 山形県牛削蹄師会	森 利夫	和 田	990-0075;山形市落合町字千歳95番1 山形県農業共済組合連合会 家畜部 診療技術課内	023-615-0311
● ★ 福島県牛削蹄師会	武藤 靖雄	菅野・佐藤	960-8031;福島市栄町6番6号 NBFユニックスビル6F 福島県農業共済組合連合会 家畜部家畜課内	024-521-2713
● 日本中央競馬装蹄師会関東支部	鞆木 忠	久 保	300-0415;稲敷郡美浦村大字美駒2500 美浦トレーニングセンター馬診療所内	0298-85-3416
● 日本中央競馬装蹄師会関西支部	平野 修	平 野	520-3103;湖南省宝来坂1-8-1 平野 修様方	0748-77-7190
● ★ 茨城県装蹄師会	浅野 智之	萩 谷	311-3106;茨城県東茨城郡茨城町越安1097-1 萩谷昇様方	029-292-1851
● NAR教養センター装蹄師会	井堀 隆雄	同左	329-2807;那須塩原市接骨木443 地方競馬教養センター内	0287-36-5511
● 栃木県装蹄師会	藤田 忠美	同左	309-1101;茨城県筑西市小栗5856 藤田忠美様方	0296-57-2436
★ 栃木県削蹄師会	佐藤 勇一	大野・吉野	321-0905;宇都宮市平出工業団地5-8 酪農とちぎ農業協同組合 業務部指導企画課内	028-660-2213
● 群馬県装蹄師会	野口 綱	同左	370-1204;高崎市東中里町37-7 野口綱様方	027-347-2604
★ 群馬県牛削蹄師会	大河原 深	中澤・西川	371-0847;前橋市大友町1-3-12 群馬県農業共済組合 家畜部家畜事故対策課内	027-251-5631
● ★ 埼玉県畜産技術振興会装蹄部会	桜沢 正美	金子・堀口	360-0102;埼玉県熊谷市須賀広784 一般社団法人 埼玉県畜産会内	048-536-5281
★ 千葉県牛削蹄師会	齋藤 康倫	古 屋	260-0031;千葉市中央区新千葉3-2-6 千葉県農業共済組合連合会 家畜部診療課内	043-245-7454
● JRA装蹄師会	渡辺 吉男	同左	300-0493;稲敷郡美浦村大字美駒2500-2 美浦トレーニングセンター競走馬診療所 装蹄室	029-885-1351
● 南関東競走馬装蹄師会	小林 輝司	北島・深木	140-0012;品川区勝島2-2-34	03-3765-9386
★ 神奈川県牛削蹄師会	小出 広春	同左	253-0084;茅ヶ崎市円蔵2425-6 小出広春様方	090-9852-8289
● 新潟県装蹄師会	高村 雅道	同左	953-0034;新潟市西蒲区葉巻場53-2 高村雅道様方	0256-72-3997
● 金沢競馬場装蹄師会	辻 修	同左	920-3113;石川県金沢市塚崎町へ8-4 辻 修様方	076-258-6274
● 関東装蹄師会	藤平 克彦	平 野	340-0211;埼玉県久喜市上内1695-5 平野大純様方	0480-53-4675
● ★ 長野県装蹄師会	嵐山 辰男	太 田	399-4604;長野県上伊那郡箕輪町福与201 太田克様方	026-570-9898
● 笠松競馬場装蹄師会	岩崎 幸広	市 橋	501-6036;羽島郡笠松町若葉町12 岐阜県地方競馬組合	058-387-3601
★ 岐阜県牛削蹄師会	服部 伸一	保 木	501-6132;岐阜県岐阜市次木348-1 岐阜県農業共済組合連合会内	058-270-0083
★ 静岡県牛削蹄師会	小池 猛	寺 田	420-0858;静岡市葵区伝馬町16-3 シルクスクエア2号館5階 静岡県農業共済組合連合会内	0542-51-3511
● 名古屋競馬場装蹄師会	小森 貴幸	同左	498-0065;愛知県弥富市駒野町1番地	0567-68-2490
★ 三重県牛削蹄師会	松本 雅樹	井 上	519-3111;三重県度会郡大紀町大内山3248-2 大内山酪農農業協同組合内	0598-72-2221
● 滋賀県装蹄師会	二社谷 聡	鷲 尾	520-3005;滋賀県栗東市御園1028 競走馬診療所装蹄室	077-552-5528
● 中部・近畿装蹄師会	浅川 信正	中 笠	593-8316;大阪府堺市西区山田1丁目1083 中笠勇三様方	0722-71-8778
● クレイン装蹄師会	假家 和浩	同左	583-0867;大阪府羽曳野市河原城991 (株)乗馬クラブクレイン内	0723-62-3241
● 兵庫県装蹄師会	森澤 清次郎	同左	661-0002;尼崎市塚口町3丁目22-9	090-5972-6307
★ 鳥取県削蹄師会	中島 忠博	西 尾	682-0922;鳥取県倉吉市福守町541-2 西尾悟様方	0858-28-0198
● ★ 岡山県装蹄師会	平井 計行	日 下	700-0984;岡山市北区桑田町1-30 岡山県農業共済組合連合会 家畜課内	086-224-5596
● 西日本装蹄師会	国沢 尊昭	同左	781-0270;高知市長浜5151 国沢尊昭様方	0888-42-8890
● ★ 広島県装蹄師協会	佐伯 峰雄	元 石	727-0114;広島県庄原市口和町永田658-1 元石晴久様方	0824-89-2523
● ★ 山口県装蹄師会	井上 連夫	鹿 島	754-0002;山口市小郡下郷2276-6 山口県農業共済組合 家畜課内	083-972-2341
★ 高知県牛削蹄師会	木下 守	筒 井	780-0861;高知市形形10-5 高知県農業共済組合連合会 総務課	088-822-4346
● ★ 福岡県装蹄師会	高田 茂	橋 本	810-0042;福岡市中央区赤坂1-4-29 公益社団法人 福岡県獣医師会内	092-751-4749
● ★ 佐賀県装蹄師会	古川 一彦	同左	830-0026;久留米市長門石町2-1-20 古川一彦様方	0942-35-3335
★ 長崎県牛削蹄師会	武藤 通孝	清水・平山	856-0029;大村市池田新町836-4 武藤通孝様方	0957-53-4710
● 荒尾装蹄師会	中嶋 國重	中 嶋	837-0902;大牟田市大字上内3593 中嶋國重様方	0944-58-3876
● ★ 熊本県装蹄師会	城 泰徳	同左	861-1682;菊池市重味425-4 城 泰徳様方	0968-24-1276
★ 大分県削蹄師会	渡辺 文夫	日高・神崎	870-0822;大分市大道町3-1-1 大分県農業共済組合連合会 事業部第二事業課内	097-544-8110
★ 宮崎県牛削蹄師会	坂上 和秋	橋 口	885-0012;都城市上川東3-10-8 都城地区農業共済組合内	0986-22-1042
● 南九州装蹄師会	加藤 好則	同左	893-0016;鹿屋市白崎町17-47 加藤好則様方	0994-41-8117
★ 鹿児島県牛削蹄師会	東村 辰二	村 野	891-0132;鹿児島市七ツ島1丁目6番24号 鹿児島県農業共済組合連合会 家畜臨床検査研修センター	099-261-0821
★ 沖縄県牛削蹄師会	瑞慶山 良雄	興那覇	901-2128;浦添市伊奈武瀬1-11-1 沖縄県中央卸売市場2階 沖縄県農業共済組合連合会 家畜課	098-868-3247

●は装蹄師、★は牛削蹄師 ●★は装蹄師、牛削蹄師ともに入会可能